

平成27年度 KONA賞ならびに研究助成等の選考結果について

本年7月21日に募集を締め切りましたKONA賞ならびに研究助成等の選考結果をお知らせいたします。

1. KONA賞

受賞者は、一般財団法人電力中央研究所・首席研究員 牧野 尚夫氏に決定しました。授賞業績は「粉体工学を基礎とした炭素資源高度利用技術の研究開発」です。賞状及び副賞として100万円が贈呈されます。

2. 研究助成

申請件数150件の中から22件（助成総額1,670万円）が採択されました。

平成27年度 研究助成採択者 （五十音順、敬称略）

助成対象者	所属・役職	研究課題
安坂 幸師	名古屋大学大学院工学研究科 ・講師	方位配向ナノ粒子触媒によるグラフェン量子ドット創製
内山 知実	名古屋大学エコトピア科学研究所 ・教授	渦輪を用いた固体粒子群の生成・輸送技術の開発
尾関 哲也	名古屋市立大学大学院薬学研究科 ・教授	特殊な噴霧ノズルによるナノ多孔性薬物微粒子製造技術
片平 和俊	理化学研究所大森素形材工学研究室 ・専任研究員	大気圧プラズマ援用ピーニングによる生体活性表面の創成
勝山 茂	大阪大学大学院工学研究科 ・准教授	表面被覆粒子を用いた高性能 Si 系熱電変換材料の創製
北山 雄己哉	神戸大学大学院工学研究科 ・助教	温和な気体刺激により回収可能な金属ナノ粒子の開発
坂本 渉	名古屋大学エコトピア科学研究所 ・准教授	耐還元粒子配向 BaTiO ₃ 系圧電セラミックスの開発
白井 孝	名古屋工業大学先進セラミックス研究センター・准教授	マイクロ波熱誘起ラジカル生成を利用した脱レアメタル触媒の開発
新戸 浩幸	福岡大学工学部化学システム工学科 ・教授	液体中の疎液性表面間に働く長距離性引力の理論的究明
鈴木 崇弘	大阪大学大学院工学研究科 ・特任助教	多孔質電極形成過程のその場センシング技術開発

田原 耕平	岐阜薬科大学 製剤学研究室 ・ 講師	医薬品連続生産システムへ応用可能な球形 晶析法の開発
富永 昌人	熊本大学大学院自然科学研究科 ・ 准教授	高電位・高速酸素還元を可能にするバイオ 分子修飾ナノカーボン電極の開発
伴 貴彦	大阪大学大学院基礎工学研究科 ・ 講師	白金触媒粒子を用いた群衆退避行動に關す る実験的研究
中曾 浩一	九州大学大学院工学研究院 ・ 助教	粒子充填層におけるガス透過性を有する伝 熱促進の検討
永津 雅章	静岡大学工学領域 ・ 教授	プラズマ修飾磁気微粒子を用いた超高感度 ウイルス検出
中西 貴之	北海道大学大学院工学研究院 ・ 助教	磁気光学旋光を用いる希土類ナノ結晶セ キュリティ発光インクの創出
中村 昭子	神戸大学大学院理学研究科 ・ 准教授	惑星間空間における粉粒体天体の衝突圧密 過程の実験的研究
山本 徹也	名古屋大学大学院工学研究科 ・ 准教授	微粒子を利用した疎水性粉体の水への分散 技術の開発
吉田 達哉	福井大学大学院工学研究科 ・ 助教	振動放射音によるボールミル内の粉碎状態 推定法の開発
吉田 幹生	岡山大学大学院自然科学研究科 ・ 助教	微小粒子添加法による排出流動性向上効果 の機構解析
脇谷 尚樹	静岡大学創造科学技術大学院 ・ 教授	塩酸触媒を用いたシリカコート磁性体微粒 子の作製
鷺野 公彰	大阪大学大学院工学研究科 ・ 助教	粒子間液架橋による粘性力を考慮した DEM モデルの開発

3. 研究者育成のための援助

申請件数 30 件の中から 10 件（助成総額 300 万円）が採択されました。

平成 27 年度 研究者育成のための援助採択者 （五十音順、敬称略）

援助対象者	所 属	研究課題	研究指導者
石塚 博孝	九州大学大学院工学府化学シス テム工学専攻	Inkjet におけるマランゴニ対流 を利用したナノ粒子構造化	深井 潤
大熊 学	東京工業大学大学院総合理工学 研究科材料物理科学専攻	粉体成形プロセスにおける微視的な粒子充 填構造と焼結における巨視的な収縮との關 連の 3 次元トモグラフィーによる解明	若井 史博
久志本 築	同志社大学大学院理工学研究科 応用化学専攻	誘電率による微粒子複合材料内 粒子分散状態の計測	白川 善幸
出耒 祐人	同志社大学大学院理工学研究科 応用化学専攻	析出速度差を利用した複合粒子 作製プロセスの開発	白川 善幸

中島 佑樹	名古屋工業大学大学院工学研究科未来材料創成工学専攻	中空シリカ粒子の白色 LED への応用	藤 正督
東田 恭平	大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻	気系流動層中における粗大物体の浮沈挙動について	田中 敏嗣
藤森 美季	大阪薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻	機能性粉体調製による難水溶性化合物の溶解性改善	戸塚 裕一
三原 史寛	東京理科大学大学院基礎工学研究科材料工学専攻	ホタテ貝殻粉体を用いた放射線汚染水処理剤の開発	竹内 謙
村上 力輝斗	東北大学大学院工学研究科材料システム工学専攻	希土類賦活パイロシリケート型粉体シンチレータ	吉川 彰
ARIF, Aditya Farhan	広島大学大学院工学研究科化学工学専攻	Development of nanostructured materials for fuel cells electrocatalyst support and supercapacitors electrode	荻 崇

4. シンポジウム等の開催援助

1 件の申請がありましたが、今回は採択が見送りとなりました。

なお、贈呈式は平成 28 年 3 月にホソカワミクロン（株）本社にて行われる予定です。
本件の詳細については下記までお問い合わせください。

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 1-9 ホソカワミクロン（株）内
（公財）ホソカワ粉体工学振興財団 TEL/FAX 072-867-1686/072-867-1658